

令和元(2019)年度 事業実施状況一覧

市民活動促進基本計画における施策項目

No.	事業名	担当課	事業目的、事業概要	令和元年度実績	新型コロナの影響 (R2年末時点)	市民活動の裾野の拡大		市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実						市民活動の場の利用促進		課題解決のための「連携と協働」の推進	
						1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	1	2
						市民活動のきっかけづくり	多様な活動につながる情報の提供	情報提供の充実	相談体制の充実	財政的な支援	市民活動に関する学びの機会の提供	交流の促進	コーディネート機能の強化	武蔵野プレイスの有効活用	多様な活動の場の情報提供	連携と協働に向けたネットワーク	連携と協働に向けたネットワーク
1	消費生活展(くらしフェスタ)	産業振興課	【目的】 市内消費者団体の活動支援と消費者問題の発信 【事業内容】 ・参加団体による活動内容(研究成果)の発表と展示 ・講師による講演「くらしに活かす味噌パワー」 ・身近な食べ物の塩分測定コーナー ・英字新聞でマイバッグ作り ・楽しい折り紙教室	・本展示: 令和元年9月27日(金)午前10時～午後5時、28日(土)午前10時～午後3時 参加団体7団体 来場者数110人 ・二次展示: 令和元年11月10日(日)むさしの青空市ブースで展示	くらしフェスタむさしの2020は中止。活動成果をまとめた冊子の発行のみを実施した(令和2年9月HP掲載及び9月15日号市報で市民周知)。令和3年2月19日～26日に市役所1階にてロビー展示予定。	○	○										○
2	男女平等推進センター企画運営委員会企画事業	市民活動推進課	【目的】 武蔵野市立男女平等推進センターの運営に関して、地域から広く意見を求め、武蔵野市の男女平等推進事業を推進する。 【事業内容】 次に掲げる事項について、協議及び検討を行った。(1)事業に係る学習講座、講演会等の企画及び運営に関する事項、(2)男女共同参画週間に係る事業の企画及び運営に関する事項、(3)女性に対する暴力をなくす運動に係る事業の企画及び運営に関する事項	男女共同参画フォーラム企画検討・講座企画検討等 ・講座「子どもたちに平等な未来を！～医大の女子学生入学差別を一例に～」 R2年3月8日 講師:中西祐子氏 →中止	委員会は延期またはオンラインで開催。対面での講座開催が困難な状況の中、開催方法等の更なる研究が必要となる。	○	○	○									
3	男女共同参画週間事業	市民活動推進課	【目的】 男女共同参画社会の実現に向けた普及啓発と関係団体の育成及び関連市民団体のネットワークづくりを目的とする。 【事業内容】 男女平等推進センターが企画運営委員会の協力を得ながら講座・イベントの企画を広く募集し、男女共同参画週間(6/23～29)に合わせて「男女共同参画フォーラム」を開催する。	①記念講演会「自分らしく生きるために憲法をどう使うか」木村草太氏 参加81名 ②映画上映会とトーク「ドリーム」とトーク 参加69名 ③公募企画3回 ・トークイベント「まちを動かすオトコたち！多摩エリアで注目のコミュニティの仕掛人」参加41名 ・講演会「カラフル・ライフ～LGBTの“いま”を知ろう～」参加32名 ・上映会&講演会「映画『みんなの学校』講演会『子どもの行動の理解について～感覚と発達のお話～』 参加人数:延137名 ④パネル展示(プレイス・市役所ロビー)8団体	毎年6月に開催していたが、開催を延期し、令和3年2月～3月に開催予定。	○	○	○									○
4	男女平等推進団体活動補助事業	市民活動推進課	【目的】 男女平等推進登録団体が行う男女平等社会の実現にむけた公開講演会などの活動に対して、その経費の一部を補助することで、団体の活性化及び施策の効果的な推進を図る。 【事業内容】 1団体1回5万円を限度に補助。補助対象は次のとおり。(1)男女平等の推進をテーマとする研修会・講演会などで公開のもの、(2)男女平等の推進をテーマとした研究及び調査、(3)男女平等社会の実現にむけて、公共機関が実施する研修会、研究会等への参加、(4)その他市長が特に必要と認めること	申請・交付 7団体 交付額計:252,059 円	団体構成員が集まり、活動することが困難な状況にある。令和元年度においても、7件中2件は、講座開催自体は中止となった。												
5	特定非営利活動法人補助金交付事業	市民活動推進課	【目的】 市内に事務所を置くNPO法人が行う公益活動の経費を補助し、団体の健全な発展を促進し、公益増進に寄与することを目的とする。 【事業内容】1団体1事業20万円を上限に補助。3名の外部委員による審査会開催。例年、交付決定団体は12月に交流会、3月に実施事業の報告会を実施。補助対象経費は次のとおり。(1)講演会、シンポジウム、講習会、研修等の開催に要する経費、(2)調査に要する経費、(3)その他市長が特に必要と認めた経費	申請時期:年1回(6月) 対象事業実施期間:当該年度内 交付決定:10法人 交付額計:1,199,462円 12月に交流会実施。	令和元年度は例年3月に実施している報告会は中止とし、委員にのみ、令和元年度補助金交付事業の報告等を行った。令和2年度は募集・審査時期を約3ヶ月延期。												
6	コミュニティ講座	市民活動推進課	【目的】対話やコミュニケーションをとりながら、コーディネーションやファシリテーションについて学ぶ。 【事業内容】さまざまな団体が連携してコミュニティづくりを進めるため、コミュニケーションを円滑に進める能力やコーディネーション・ファシリテーションについて学ぶ場として、市と武蔵野市コミュニティ研究連絡会の共催で第1期の講座となる「地域をつなぐコーディネーター養成講座」を開催。コミュニティ協議会、地域の団体・個人、市職員、武蔵野プレイス職員が参加して実施。	平成28年度から実施してきた基礎編・応用編講座の実践の場として、修了生が企画・運営する地域フォーラムの開催を目指し、ミーティングを重ねた。 ①10月29日(6名) ②11月14日(4名) ③12月4日(9名) ④12月26日(9名) ⑤1月14日(7名) ⑥1月28日(5名) ⑦2月7日(8名) ⑧2月21日(11名)	令和元年度は新型コロナウイルス感染症の発症・感染拡大防止のため事業(2月予定)を中止した。												○
7	コミュニティ協議会活動補助事業	市民活動推進課	【目的】 地域社会と市民活動の活性化を図り、コミュニティが発展していくことで、市民生活がますます充実していくことを目的とする。 【事業内容】 コミセンを拠点としてコミュニティ協議会が行う地域のコミュニティづくりのための活動に対して、必要な補助金を交付。	申請時期:年1回 対象事業実施期間:当該年度内 交付団体:16コミュニティ協議会 計約3,360万円	・令和2年3月2日から7月5日まで全コミュニティセンター休館(7月6日から段階的に再開)。 ・住民総会は書面開催												○

No.	事業名	担当課	事業目的、事業概要	令和元年度実績	新型コロナの影響 (R2年末時点)	市民活動の裾野の拡大		市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実						市民活動の場の利用促進		課題解決のための「連携と協働」の推進		
						1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	1	2	
						市民活動のきっかけづくり	多様な活動につながる情報の提供	情報提供の充実	相談体制の充実	財政的な支援	市民活動に関する学びの機会の提供	交流の促進	コーディネート機能の強化	武蔵野プレイスの有効活用	多様な活動の場の情報提供	連携と協働に向けたネットワーク	協働に向けた体制の整備	
8	避難所運営組織による避難所開設・運営訓練に対する支援事業	防災課	<p>【目的】 「災害時は自助・共助・公助の連携」が重要なことから、各地域の避難所運営組織の活動を積極的に支援する。</p> <p>【事業内容】 ・各避難所運営組織が実施する会議、訓練企画、防災訓練、地域に対する防災知識の啓発活動等に対して、職員派遣、事例紹介、物品の提供・貸与、資料作成などを実施している。 ・上記活動を実施することで、地域住民の防災知識の向上、組織運営力の向上につなげている。 ・避難所運営組織が実施する訓練の形態は、「宿泊体験」や「資器材運転」、「支援物資の受領及び配布」、「災害時要援護者の安否確認」、「救助救出」、「初期消火」、「避難所開設」、「医療・福祉施設との連携」、「生徒・児童の引き渡し」など多様化している。</p>	<p>避難所運営組織13団体が実施する訓練など ・境南地域防災懇談会、1回 10/17(境南小学校) ・南町防災ネットワーク、1回 3/7⇒中止 ・一小地域防災ネットワーク、1回 6/22(対一小学校) ・大野田地域防災の会、1回 10/30(大野田小学校) ・東部防災会、2回 9/29(本宿小学校)・12/14(第三中学校) ・関前防災会、2回 10/19(関前南小学校)・11/18(第五中学校) ・四小地域防災会、1回 2/29⇒中止 ・千川地域防災会、1回 9/14(千川小学校) ・武蔵境自主防災会、1回 10/9(第六中学校) ・一中地域防災会、2回 7/13(第一中学校)・10/12⇒台風接近のため中止 ・井之頭小学校避難所運営協議会、2回 10/13⇒台風接近のため中止・2/29⇒中止 ・桜野地域防災ネットワーク、1回 10/27(総合防災訓練) ・第五小学校避難所運営協議会、1回 12/8(第五小学校)</p>	<p>令和2年第1回自主防災組織情報交換会(6/20開催予定)の中止 ・各避難所運営組織が実施する地域訓練の中止 ・令和2年度第2回自主防災組織情報交換会(2/10開催予定)の中止</p>	○											○	
9	むさしの環境フェスタ	環境政策課	<p>【目的】 幅広い層の市民に、環境に対する関心を持つきっかけを提供するとともに、環境に関する活動市民団体や事業者による活動機会の場を提供する。</p> <p>【事業内容】 環境に関する市民団体や事業者、行政などによる様々な活動紹介の展示やワークショップ等。</p>	<p>日時: 令和元年11月10日 午前10時～午後3時 来場者数: 約 3,500名 展示やワークショップのほか、SDGsシールラリーや移動水族館などの企画を行った。また、イベント開催前に団体交流会を三回実施した。ここでは、市民団体間の連携を高めるための意見交換や日頃の活動内容の紹介などを行った。</p>	<p>屋外会場を設けないインターネット上のオンラインイベントとして令和2年11月8日から令和3年3月31日まで実施・配信する。映像による環境活動団体の紹介や配信イベント(廃材を使った音楽ライブ)などを予定している。</p>	○	○	○									○	
10	地域猫対策協働事業	環境政策課	<p>【目的】 生活公害となる糞尿被害や鳴き声に対する改善を図り、人と猫が快適に共生するまちづくりへ寄与。</p> <p>【事業内容】 ①飼主のいない猫を捕獲して不妊去勢手術費用の一部助成を行う。 ②会員が余儀なく保護した猫の譲渡会を年2回市と共催で実施、飼主のいない猫の減少を図る。 ③青空市等、市の行事に参加して地域猫活動のPRと問題の解決に努める。</p>	<p>・不妊去勢手術件数: オス30頭、メス30頭(内、妊娠メス3頭)(その他、団体単独の助成実績あり) ・飼主のいない猫の譲渡会 4月21日 12件に対し申込7件 9月24日 59件に対し申込18件(その他団体単独実施あり)</p>	<p>令和2年度に予定していた春・秋の共催譲渡会は会場借用不可のため中止。団体単独開催の譲渡会は11月以降再開。</p>	○												
11	ごみ減量協働事業	ごみ総合対策課	<p>【目的】 市民・市民団体自らが、イベントを通してのごみ分別指導等を市の委託事業として行うことで、ごみ減量について市民の意識向上や主体的な取り組みの促進を目的とする。同時に組織の活性化を図る。</p> <p>【事業内容】 ①分別案内: 市民団体が主体となり青空市・桜まつりのごみ分別指導を実施。ごみ分別及び3R意識の徹底を図る。 ②ごみ分別案内所: 3月末に、主として転入届出を提出する市民を対象にごみの分別や出し方の案内、ごみ減量の啓発を実施。 ③ごみ減量情報紙配布委託: ごみ減量に関する情報紙の全戸配布。 ④3R連続環境講座: 生ごみたい肥をつくり、それを使い野菜をつくることで、ごみを減らし、循環型社会実現を目指す(連続講座)。 ⑤お茶碗リユース事業: コミセンや各種イベント等でお茶碗等を回収し、使用したい方にお茶碗等を譲渡。</p>	<p>①桜まつり、青空市で実施 ②中止(新型コロナウイルス感染症防止対策) ③78,000世帯×年1回 ④受講者17名 ⑤リユース量1740kg以上</p>	<p>緊急事態宣言の発令等により令和2年度のごみ減量講座は中止とした。桜まつりの中止により分別案内は実施できなかった。</p>		○	○										
12	緑ボランティア団体事業助成	緑のまち推進課	<p>【目的】 市内における緑豊かな生活環境を確保することを目的とする。</p> <p>【事業内容】 緑の保全、緑化推進及び公園等の維持に関するボランティア活動を行っている団体の活動の発展を促し、その緑ボランティアの団体事業経費の一部を助成する。助成金の額は、助成事業に必要と認めて算定した額とし、1団体あたり上限を20万円を限度とする。</p>	<p>令和元年度 交付額: 2,997,000円(23団体)</p>	<p>年度末に開催している協議会は令和元年度は書面開催で実施。令和2年度の助成金は例年通り支給しているが、新型コロナウイルスの緊急事態宣言の発出期間は活動中止とした。</p>													
13	高齢者食事学事業	高齢者支援課	<p>【目的】 料理講習会、講演会を通して市協栄栄養士から高齢期の栄養についてのアドバイスを受け、食べること、作ることを楽しむを学ぶ。</p> <p>【事業内容】 「高齢者食事学研究会」の市協栄栄養士による高齢者対象の各種料理講習会等を開催(①生活習慣病予防料理講習会、②男性のための料理講習会、③地域会食会・栄養相談会)。また、講習会を卒業した人の中から、自主的な活動を希望する市民のために自主グループの立ち上げとその運営について支援する。</p>	<p>①38回(参加者延べ335名) ②15回(参加者延べ140名) ③2回(参加者延べ32名)</p>	<p>10月末まですべての事業を中止。11月より事業内容を変更し、料理講習会に代わり「高齢者食事学研究会便り」としてシニアのためのレシピを毎月公共施設等に設置するほか、料理講習会の動画を制作予定。</p>	○												

No.	事業名	担当課	事業目的、事業概要	令和元年度実績	新型コロナの影響 (R2年末時点)	市民活動の裾野の拡大		市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実						市民活動の場の利用促進		課題解決のための「連携と協働」の推進				
						1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	1	2			
						市民活動のきっかけづくり	多様な活動につながる情報の提供	情報提供の充実	相談体制の充実	財政的な支援	市民活動に関する学びの機会の提供	交流の促進	コーディネート機能の強化	武蔵野プレイスの有効活用	多様な活動の場の情報提供	連携と協働に向けたネットワーク	1	2		
14	子育てひろばボランティア養成講座	子ども政策課	【目的】 (1)武蔵野市主催の親子ひろば事業(コミセン親子ひろば、ふたご・みつごのつどい)等で活動するボランティアを養成する。 (2)現代の子育てを取り巻く状況を学び、地域における親子の多様な居場所(ひろば)の必要性を感じることで、受講者自身が新たな居場所やサークルを創出してみようとする気持ちを促す。	・令和元年6～7月:3日間の講義及びワークショップ、コミセン親子ひろば等での1日実習。 ・令和2年1～2月:3日間の講義及びワークショップ、コミセン親子ひろば等での1日実習。 ・講座参加者数 31名	年2回実施している養成講座1回目が、延期となった。(今後実施予定) 令和2年12月に3日間の講義及びワークショップ、コミセン親子ひろば等での1日実習。 講座参加者数 14名	○														
15	子育てフェスティバル	子ども政策課	【目的】 (1)子育て家庭に対して、「親子であそぶ」ことを通じて、親子のリフレッシュを図り、子育ては楽しいものであると感じてもらおうとともに、子育て支援関係の施設や団体の取組等の情報を発信する。 (2)子育て支援団体等が参加することにより、来場する子育て家庭が直接団体等の活動に接してもらい、つながってもらう。 (3)子育て支援関係の施設や団体同士がネットワークを強化し、さらなる連携を進めるきっかけにもらう。 【事業内容】 平成26年度より、担当課を子ども育成課(旧保育課)から子ども政策課に変更し、会場を3か所から1か所に集約するとともに、NPOや地域団体など様々な主体が参画し、子育て家庭とつながるきっかけをつくるイベントとして充実を図っている。	来場者:667名 (子ども283名、大人348名、団体・関係者36名)	令和2年度10月に予定していた第19回については、中止を決定した。		○	○											○	
16	まちぐるみ子育て応援事業	子ども政策課	【目的】 「地域の店舗(企業)、団体、施設、行政などが協働し、まちぐるみで子育て家庭を応援する事業」を企画提案し実施する団体に補助金を交付することで、地域社会全体で子育て家庭を支えていく気運を醸成し、子育て家庭が心地よく過ごせるようにするとともに、商業の活性化を図り、「まちぐるみで子育て家庭を応援するまち武蔵野」を推進する。 【事業内容】 「地域の店舗(企業)、団体、施設、行政などが協働し、まちぐるみで子育て家庭を応援する事業」を企画提案し、実施する団体に補助金を交付する。	平成30年度で終了 理由:事業創設時(平成25年度)の目的を達成したため。						○										○
17	子育てひろばネットワーク会議	子ども政策課	【目的】 子育てひろばの運営主体同士で、「①情報交換を図る」ことで、「②地域の課題と情報を共有」し、利用者に対して適切な支援につないでいく。また各ひろばで気になるケース等が生じた場合には「③専門機関へつなぐ」ことが求められることから、子ども家庭支援センター・健康課・ハビットなどもネットワークの一員とすることで、子育てひろばと専門機関との連携体制を強化する。 【事業内容】 子育てひろばを運営・実施している施設や機関、団体関係者でネットワークを構築し、情報交換や先進事例の報告、スキル向上のための研修会等を実施する。	令和元年9月:市からの情報提供、エリアごとの施設(ひろば)訪問及び報告会 参加者数:28施設団体32名(行政機関等を含む)	令和元年度第2回目のネットワーク会議を中止した。 年度末までにオンライン環境による開催を予定。															
18	中高生リーダー講習会	児童青少年課	【目的】 地域社会の指導者としての役割を担える人材を育成するため、市内在住・在学の中高生を対象に、養成講座を実施する。 【事業概要】 中高生リーダーとしての心得、子どもとの接し方、ジャンボリーサブリーダーについての講義及びデイキャンプ講習、救急法講習を実施する。修了生のうち希望者は中高生リーダーとして登録し、様々な地域活動に携わる。	延べ参加者数:751名 登録者数:353名(新規128名、継続225名) 通年実施 【講習会日程】 ・開講式 平成31年4月18日 ・サブリーダー講義 平成31年4月26・27日 ・デイキャンプ講習 令和元年5月11・12・19・26日 ・救急法講習 令和元年5月18・25日	令和2年度より「中学生・高校生リーダー養成講座」に名称変更した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、ビデオ講義などを活用した講習とするなど事業の一部を変更して実施した。また、保育体験プログラムなどは中止とした。	○														
19	武蔵境ピクニック	まちづくり推進課	【目的】 武蔵境地域の南北の市民交流と地域の活性化を図ることにより、住みよいまちづくりに寄与するため。 【事業内容】 (1)スタンプラリーショッピング ・参加費500円・参加者700名(小学生以上) ・9商店会、2大学、2コミセン、JR武蔵境駅の14箇所のチェックポイントを徒歩で回り、スタンプを集める。スタンプ数によりイベント通貨が貰える。 (2)メイン会場(境南ふれあい広場公園) ・催し物(仮設ステージ)…地域の小学校、大学、市民団体等による、合唱・吹奏楽等 ・模擬店(テント)…各国料理、地元商店、市民団体等による料理の販売、各種相談	令和元年5月11日(土)午前10時から午後4時まで開催。(事業参加人数:約6,600人) 特設舞台にて地域の学校関係による合唱・吹奏楽等の催し物を開催。 スタンプラリーショッピングは605名が参加。配布されたイベント通貨は当日の会場内模擬店と武蔵境地域周辺商店会各店(3日間)で使用され、回収率は97%であった。	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言期間中であったため、イベントの開催自体を見送った。令和3年度以降についても社会情勢を鑑みながらの実施の可否を判断せざるを得ない状況である。															○

No.	事業名	担当課	事業目的、事業概要	令和元年度実績	新型コロナの影響 (R2年末時点)	市民活動の裾野の拡大		市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実						市民活動の場の利用促進		課題解決のための「連携と協働」の推進			
						1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	1	2		
						市民活動のきっかけづくり	多様な活動につながる情報の提供	情報提供の充実	相談体制の充実	財政的な支援	市民活動に関する学びの機会の提供	交流の促進	コーディネート機能の強化	武蔵野プレイスの有効活用	多様な活動の場の情報提供	連携と協働に向けたネットワーク	課題解決に向けた体制の整備		
20	生涯学習事業費補助金	生涯学習スポーツ課	【目的】主に武蔵野市内で活動し、構成員の半数以上が市内に在住、在勤、在学している団体が、主に市民を対象とし、市内において実施する生涯学習事業に要する経費の全部又は一部を補助することにより、団体が日頃の活動では取り組むことが難しい事業の実現を図り、市の生涯学習の発展に寄与することを目的とする。 【事業内容】1団体1事業50万円を限度で補助。交付団体及び交付額は、書類及びプレゼンテーションに基づく社会教育委員の会議の審査結果を踏まえて決定する。	申請：17団体 交付決定：12団体(1団体取り下げ、1団体コロナにより中止) 交付額計：1,668,000円 精算後額計：1,361,133円	令和2年3月に実施予定の団体の事業が1件中止となった。令和2年度は当初の募集・審査スケジュールを約1か月延期し、5月末に募集、6月末に審査を実施した。令和2年度応募6件														
21	子ども文化・スポーツ団体支援事業費補助金事業	生涯学習スポーツ課	【目的】主に武蔵野市内で活動し、構成員の半数以上が市内に在住、在勤、在学している団体が実施する、主に市内に在住・在学する満19歳以下の子どもを対象とした文化・スポーツ・体験活動事業に要する経費の全部又は一部を補助することにより、団体が日頃の活動では取り組むことが難しい事業の実現を図り、子どもの体験活動の活性化に寄与することを目的とする。 【事業内容】1団体1事業50万円を限度として補助する。交付団体及び交付額は、書類及びプレゼンテーションに基づく社会教育委員の会議の審査結果を踏まえて決定する。	申請：16団体 交付決定：11団体(1団体取り下げ) 交付額計：1,719,130円、精算後額計：1,143,245円	令和2年度は当初の募集・審査スケジュールを約1か月延期し、5月末に募集、6月末に審査を実施した。令和2年度応募：3件														
22	むさしのサイエンスフェスタ	生涯学習スポーツ課	【目的】身近な科学実験を体験することで、子どもたちに科学の不思議と面白さを感じてもらい、理科への関心や学ぶ意欲を向上させる。 【事業内容】市立小中学校教員や地域ボランティア、企業、大学等による体験型実験ブースを展示する各ブース出展者で構成する実行委員会を組織し、市教育委員会と共催。実行委員会が出展内容を決定し、市は経済的に支援し、実行委員会の運営を補助する。	令和元年11月3日(日・祝)午後1時～4時 武蔵野総合体育館(メインアリーナ、陸上競技場、ダンス室) 参加者：1,623名 入場者1,378名 31ブース展示(ブース出展者245名)	令和2年11月3日(火・祝)に開催を予定していたが、4月13日に中止を決定した。														
23	文庫活動助成事業	図書館	【目的】一般市民に図書館資料の魅力を紹介すると同時に、文庫活動をPRL、文庫会員相互の交流・研修の場とする。 【事業内容】年2回(春・秋)講座や講演会を実施している。	・講演会(中央図書館3階 視聴覚ホール) 5月16日「昔ばなしが語る子どもの成長」 参加48名 11月17日「本に出会う。読書を広げる。」 参加32名 ・団体貸出 登録団体29団体 貸出16,813冊	令和2年度については、春、秋とも講演会は中止とした。														
24	大学との包括連携協定	企画調整課	【目的】人的交流、情報共有および物的活用を図り、相互に協力して人材育成と地域社会発展に寄与する。 【事業内容】これまでも市と大学とは、武蔵野地域自由大学事業、武蔵野地域五大学共同事業、各種委員会への委員就任、市のイベントへのボランティア協力、小・中学校教育、スポーツ活動の支援などで相互に協力してきた。協定によりこれまでの協力関係をより一層深め、地域課題の解決を通じて新たな人材育成と豊かな地域創造を推進していく。	・成蹊大学との連携会議開催 ・杏林大学との包括連携協定締結															
25	職員向けコーディネート力向上研修	人事課	【目的】地域と行政、関連団体と行政など多様な主体が連携して市政の課題にあたる際に必要なコーディネート力について理解を深め、地域等との連携を身近なものにとらえ、日々の業務に生かすきっかけとする。 【事業内容】平成28年度～30年度に市民の学びの場として「コミュニティ未来塾むさしの」を開催。講義及びグループワーク形式。市民とともに職員が参加(1～5期で延べ11名)。	コーディネート力向上研修は未実施。 新人職員対象にコミュニティ政策や市民活動団体との連携について講義を実施。	新人職員向け研修は4月の予定を延期し10月に実施。														
26	啓発事業(パネル展示等)	武蔵野プレイス	市民活動をしている「人」に着目したパネル展示を行い、市民活動を行っている方を紹介し、市民活動への理解促進を図る。	実施なし	「市民活動をする人展2020～市民活動のタネ～」 パネル展示でなくデジタルサイネージによる放映と冊子配布という形式で実施。 吉祥寺図書館・総合体育館で出張展示実施あり。	○	○												
27	啓発事業(講演会)	武蔵野プレイス	市民活動への理解促進のための講演会等を実施。様々な活動を行っている人の人柄や活動に対する思いを知り、市民活動を身近に感じてもらう。	「楽しく知ろう、しみんかつどう！地域で生かそう、あなたの笑顔」西川正(NPO法人ハンズオン埼玉) 講演会、ワークショップ 参加者：23名	「新型コロナ禍での市民活動～中高生の居場所リアルとオンライン～」米田瑠美(認定特定非営利活動法人カタリバ) 会場参加のほかYouTube限定配信を実施。	○	○												
28	ニューズレター発行	武蔵野プレイス	武蔵野プレイス市民活動フロアの事業や関連本の紹介、団体のイベント情報等をお知らせする広報紙を発行。	第31号～34号発行、各800部	例年どおり計4回発行予定(現在までに第35号～37号発行済み)	○	○	○											
29	市民活動情報コーナー	武蔵野プレイス	市民活動に役立つ書籍、市民活動団体情報等を収集整理し、閲覧に供する。市民活動団体ファイル、チラシ、助成金情報等、市民活動関連情報を置いている。	市民活動団体ファイル、チラシ等の配置により助成金情報等、市民活動関連情報を提供	6月末まで武蔵野プレイス全館閉館のため利用中止。	○		○											

No.	事業名	担当課	事業目的、事業概要	令和元年度実績	新型コロナの影響 (R2年末時点)	市民活動の裾野の拡大		市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実						市民活動の場の利用促進		課題解決のための「連携と協働」の推進		
						1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	1	2	
						市民活動のきっかけづくり	多様な活動につながる情報の提供	情報提供の充実	相談体制の充実	財政的な支援	市民活動に関する学びの機会の提供	交流の促進	コーディネート機能の強化	武蔵野プレイスの有効活用	多様な活動の場の情報提供	連携と協働に向けたネットワーク	協働に向けた体制の整備	
30	市民活動マネジメント講座	武蔵野プレイス	市民活動団体の活動、運営に関する知識や実務に役立つ講座を実施。	①会計『わからない』を『わかる』に変える！基礎から学ぶ、はじめてのNPO法人会計 参加:13名 ②組織運営『思わず人が動く！共感を得るための『伝え方』講座』参加:9名 ③広報『伝わる！集まる！共感されるチラシのコツ』参加:7名 ④法人設立「初心者のためのNPO法人設立入門講座」※中止	開催回数を縮小・組織運営中止・法人設立「NPO法人って大変なの？」決断するための法人設立講座/Zoomで実施。			○	○					○				
31	情報ステーションの運営	武蔵野プレイス	武蔵野プレイスホームページ上のシステム「市民活動情報ステーション」に、全ての登録市民活動団体情報を公開し、団体自らが活動状況の更新や情報発信できる環境を提供。情報ステーションを活用してもらうことで、団体がイベント情報などを公開できる。	団体からの投稿公開件数 19件	団体からの投稿公開件数 2件(12月末現在)			○					○	○				
32	市民活動団体企画講座	武蔵野プレイス	環境、教育、福祉、災害、まちづくりなど、社会や地域の課題に取り組んでいる登録市民活動団体から、市民への気づきを促し、課題解決の実践につながる事業のアイデアを募集し、市民活動団体企画講座として実施する。企画については選考のうえ決定。1団体上限5万円まで3団体まで。	①「どう減らす？使い捨てプラスチック～武蔵野アクションプランを考えよう～」企画運営:水Do！ネットワーク 参加:41名 ②「対話型グループ絵画鑑賞でダイバーシティの考え方、感じ方を知ろう」企画運営:NPO 法人クリエイティブライフデザイン 参加:11名 ③「脳の健康教室」企画運営:NPO 法人武蔵野すこやか 参加:43名	中止											○		
33	相談事業	武蔵野プレイス	市民活動に関する相談、専門機関紹介、団体仲介等のコーディネート等を実施。法人設立に関する相談や定款の書き方、団体紹介等について。	延べ11件	延べ3件(12月末現在)				○				○	○				
34	団体交流事業	武蔵野プレイス	市民活動団体相互の交流を促進することを目的として、市民活動団体相互の交流(団体紹介や課題の共有交換等)により活動のひろがりのきっかけを作る。登録市民活動団体を対象に、団体ミニ交流会(展示ブースを使って団体紹介)等を行う。	6月16日、「市民活動の森 説明交流会」参加:5団体(7名) ※プレイス・フェスタ2019「市民活動の森」参加団体に対して事前説明と交流会を実施。	中止									○	○	○		
35	市民活動フロア運営	武蔵野プレイス	市民活動団体登録事業、プリント工房貸出し、ロッカー、メールボックスの貸出し、ワークラウンジなどの対応を行う。市民活動団体登録手続きや市民活動フロア利用案内、プリント工房利用案内、ロッカー・メールボックスの抽選申込、使用料収納、ワークラウンジ開放受付、情報コーナーチラシ、ポスター掲示受付。	令和元年度登録団体数 282団体	6月末まで利用制限(プリント工房、ロッカー、メールボックスの貸出し、ワークラウンジの開放等を中止)										○			
36	コミュニティマーケット	武蔵野プレイス	【目的】団体の設立目的や活動内容等をPRする場を提供する。 【事業概要】登録市民活動団体が日頃行っている活動を紹介するパネルの展示や、一般の方に向けてワークショップ等を行う。	市民活動の森「～ここにある。広がる世界、つながる仲間～」 7/4～9 パネル展示 7/6ワークショップ 7/6～「本の福袋」市民活動のジャンル、テーマに合わせて選書、配布	中止	○	○	○							○			
37	市民活動フロア運営協議会	武蔵野プレイス	市民活動フロアの運営に関して、利用者参画を実現し、利用者ニーズを反映させるための協議会を運営。市内で活動する市民活動団体の関係者定数10名(29年度は7名)によって構成され、市民活動フロアの事業の企画・実施・評価、設備・その他市民活動の運営上必要な事項に関する事について協議し、武蔵野プレイス事業部長に提言する。	5回開催	第1回を延期し11月に開催。2・3月実施予定。										○			
38	市民活動フロア登録団体ヒアリング	武蔵野プレイス	登録市民活動団体の登録更新に合わせ、市民活動フロアに関して登録市民活動団体から意見等を伺う。28年度までは市民活動フロア懇談会を実施。29年度より形態を変更した。	更新団体39団体のうち10団体にヒアリングを実施。	更新団体48団体が対象。感染予防対策として当日対面での対応時間を短縮するためヒアリングシートを事前に記入してもらう形式で実施予定。										○			
39	ボランティア育成事業	市民社協	地域で活動する障がい者のためのボランティアを育成するとともに、障がいへの理解を促進する。	①手話講習会(初・中・上級)6クラス各28回 受講者125名、(通訳養成)22回 受講者12名 ②点訳(入門)講習会 10回 受講者5名、(応用)講習会 10回 受講者4名 ③夏休み子ども手話教室 3回 受講者18名 ④失語症会話パートナー養成講座 受講生8名	①手話講習会は通訳養成クラスのみフォローアップ講習会を10月より開講 ②点訳講習会は入門と応用をまとめ、10月より開講 ③子ども手話教室は中止 ④失語症会話パートナー校正講座は3月に実施予定	○									○			
40	こころのバリアフリー啓発事業	市民社協	障がい者支援の基礎知識を学ぶ出前講座を実施し、こころのバリアフリーを促進する。	(R1年度実施対象者) 第三小学校(3年)、第五小学校(3・4・5年)、桜野小学校(3・4年)、本宿小学校(4年)、井之頭小学校(4年)、都立武蔵高等学校(1年)、中央図書館、生涯学習振興事業団	10月より出前講座を再開	○												
41	広報誌発行	市民社協	市民の方々に様々な地域福祉事業やボランティア活動に関する情報を提供する。 市民社協だより「ふれあい」:一般市民向け 毎月発行(45,000部) VCM通信:VCM(ボランティアセンター武蔵野に登録する個人及び団体向け) 偶数月発行(2,600部)	市民社協だより「ふれあい」:毎月発行 VCM通信:偶数月発行	VCM通信は掲載記事の減少(イベント・講座の中止)によりページ数を6→4ページに変更	○	○	○										

No.	事業名	担当課	事業目的、事業概要	令和元年度実績	新型コロナの影響 (R2年末時点)	市民活動の裾野の拡大		市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実						市民活動の場の利用促進		課題解決のための「連携と協働」の推進			
						1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	1	2		
						市民活動のきっかけづくり	多様な活動につながる情報の提供	情報提供の充実	相談体制の充実	財政的な支援	市民活動に関する学びの機会の提供	交流の促進	コーディネート機能の強化	武蔵野プレイスの有効活用	多様な活動の場の情報提供	連携と協働に向けたネットワーク	1	2	
42	お父さんお帰りのパーティー	市民社協	定年前後のシニアを対象に、地域での活動のきっかけづくりを目的として開催している。	第20回お父さんお帰りのパーティー 令和元年6月16日(日) 参加者:129名 内容:講演「コミュニティの扉を開けるとー3人の先達が振り返る地域デビュー」、参加団体の活動を紹介します展示ブースの見学、地域活動団体紹介(動画上映)、交流会ほか	6月の開催を2月に延期 オンラインでワークショップの実施とWEBでの市民活動団体特設ページを公開予定	○	○												
43	お父さんお帰りのサロン	市民社協	パーティ参加者のフォローアップ事業としてのおとばサロンを毎月実施している。	4/13(川崎平右衛門の話 23名) 5/11(わたしのまちの美術館 19名) 7/13(知らなきゃ損する?! まちの医療 25名) 9/14(武蔵野の文化人たち 11名) 10/12(ボールを持って歩こう ※台風で中止) 11/9(おとばDEボードゲーム 5名) 12/14(ご近所のチカラ 7名) 1/11(おとばDE新春書初め 5名) 2/8(バードウォッチング〜鳥とわたしたち〜 19名) 3/7(初めての囲碁入門 ※新型コロナにより中止)	9月よりオンラインで再開	○													
44	夏! 体験ボランティア	市民社協	市内在住・在学・在勤の方を対象として夏休み期間のボランティア体験の場を提供することを目的とし、市内の高齢者・障がい者・児童施設やボランティア団体に受け入れの協力をいただき実施している。	①ナツボラ 実施期間:7/3(水)~8/17(土) 参加者数:167名 ②ハルボラ 実施期間:3/3(火)~3/25(水) ※新型コロナにより中止	ナツボラ・ハルボラともに中止	○	○												
45	入門講座	市民社協	ボランティア活動のきっかけづくりや活動に必要なスキルを学ぶ講座を実施している。	・車いす付き添いボランティア講座 日時:①5/15(水) 参加者:4名 ②5/25(土) 参加者:5名 ・ボランティアオリエンテーション 日時:①6/29(土)参加者4名 ②2/26(水)・29(土)※新型コロナにより中止 ・お話し相手ボランティア講座 日時:①座学10/25(金)参加者:7名 ②実習10/26(土)~11/7(木) ③11/8(金)振り返り 参加者7名	10月以降、オンラインでの開催を中心に再開。1月より再度中止中。	○													
46	協働講座	市民社協	ボランティア活動を始めるために必要な知識やスキルを学べる講座をボランティア団体と共同で実施する。	お仕事サロン体験~市民の善意が循環するボランティア活動を体験してみませんか? 日時:①9/20(金) 参加者:3名 ②9/21(土) ※中止		○													
47	テンミリオンハウス起業・運営支援事業	市民社協	「テンミリオンハウス」の運営を担う市民団体やNPOの活動支援。定期的な運営状況の確認を行うと共に、各団体からの相談を受け、テンミリオンハウスの運営が安定して行えるよう支援する。	テンミリオンハウスを運営する8団体を支援。				○	○		○								
48	ボランティアコーディネーター	市民社協	ボランティア依頼に対し、登録されている活動会員(個人・団体)の中から条件に合う会員に活動依頼を行い、依頼者に紹介を行う。また、ボランティア希望者に対し、適切な活動先を紹介する。	依頼件数:130件(紹介82、調整中39、取り下げ4、調整つかず5、他機関紹介0)	依頼数が大幅に減少 コーディネーターも緊急性・感染リスクをふまえて実施														
49	ボランティア・地域福祉活動助成	市民社協	市内を拠点に活動するボランティア・市民活動団体の福祉活動を応援する助成制度。事業に対する単年度助成で、助成金の決定は「武蔵野地区配分推せん委員会」で審査。財源は「歳末たすけあい・地域福祉活動募金」と「横河・100円募金の会」からの寄付である。	26団体 計2,705,758円	募集期間を延長し、プレゼンテーション審査を中止						○								
50	施設ボランティアコーディネーター研修	市民社協	市内及び近隣の施設ボランティアコーディネーターを対象にボランティアの受け入れに関する様々な研修やコーディネーター同士の情報交換の場として実施	①「ボランティアから愛される施設になるために」 7/11(木) 講師:谷口陽香氏(東京ボランティア・市民活動センター) 参加者数:10名 ②「ボランティアコーディネーターに活かせる話し方・聴き方」 2/28(金) 講師:碓氷美香氏(調話カアドバイザー)※新型コロナにより中止	受け入れ施設が対外的な活動を休止しているため中止														
51	地域福祉ファシリテーター養成講座	市民社協	地域のさまざまな福祉課題を自ら発信するとともに、その解決に向けた活動を企画し、住民を巻き込みながら実践する「地域福祉ファシリテーター」を養成する。 本講座は3市(武蔵野・三鷹・小金井)と各市の社協、ルーテル学院大学の共催により実施しており、ルーテル学院大学の講師が受講生の指導を担当。	参加者21名(うち武蔵野市民4名)	中止														○
52	大学間ネットワーク事業	市民社協	武蔵野市内及び近隣の大学ボランティアサークルのネットワークづくりを目的として開催している。	①ゴミ拾い×BBQ 6/9(日) 参加者:40名 ②大学間2019~Let'sオリパラ ※荒天中止 ③Let'sボラまき! 鬼は外! ボラは内! 2/2(日) 参加者:20名	7月よりオンラインで再開														○
53	身近な地域の居場所づくり助成・支援事業	市民社協	住民同士が顔見知りになり、支え合いのまちをつくるための仕組みとして、市民社会福祉協議会が、身近な地域の居場所づくりを支援(立ち上げや運営の助言、助成金の交付など)	9団体 計497,255円							○								○